日十

越 內 之 所 之 勇 鬼

設行所 特京美具領域社 第4本条611/1 - 111100

中谷時計店旗部

進また

進する

る筈である 優務院より仮谷大長の出席あ の語である

はて ごれだけ 9 3 > め

萬一の場合

田世ば意見の相違を来し折角 別審議會監置問題についての 三黨首招待は政府と政友の間に には爆弾動議の後始末並に内 には爆弾動議の後始末並に内 には爆弾動議の後始末並に内 には爆弾動議の後始末並に内 には爆弾動議の後始末並に内 には爆弾動議の後始末並に内 には爆弾動議の後が表して局 を異にして居るため側田首 相は政府側は具体的問題を持 ることとなり政府と政友の間 ることとなり政府と政友の間 ことを惧れ、政黨の協力なし には此の継号は打開出来ぬと には此の継号は打開出来ぬと た為め、政府としては最も譲 た為め、政府としては最も譲 かつたが、政府としては最も譲 政府側三黨首招待

食合によつて和やかな空気を よりも效果あり、今後何か事 よりも效果あり、今後何か事 が担でた場合に致友會との間 が出でたとして居るが政府の 合では暴げ得なかつたものと

對リ外交說明

昨日初の外務金議會

終つたが、當日の

大田駐ッ大使の戦

(南京十九日設調通)北平より南下せる黄ヶ氏は十九日午 ・訪問し最近の憲北の情勢に で訪問し最近の憲北の情勢に でき幹組織告を行つた、黄ヶ 氏の到着を以て蔣介石氏以下 政府要人悉く出掘つた驛で虚 本對日間題はじめ内外諸重要 案件の協議を行ふこととして 変界は一段の緊張を示して来

なる攻撃態度困難と見られ、なる攻撃態度困難と見られ、

転扱の二箇所にもこれが創設 一、臨江(電燈数一、五〇〇) 一、臨江(電燈数四、五〇〇)

が委任統治 報告書を採擇

十九日の聯盟理事會

まづ災害豫算に誠意を示せ

以友首腦部の意向

「ジュネーヴ十九日 設園通) 十九日の聯盟理事會は最に委 任統治委員會から提出された 日本委任統治領域に闘する 報告書を審議し異額無くこれ を探探したが、日本の南洋委 任統治領域に闘する部分は日 本の伊藤委員と各國委員との 消答を許しく経錐し、特に南 洋語島に於ける港灣修築費に

ては御免

以下各局部長多職會議員たる
・ 中等半外務大臣官邸に於て
・ 開催され厳田外相、重光大官
・ 開催され厳田外相、重光大官 初の食合を は極めて有益なものであつた 日陽京した日脳會商代表長岡みた對メ外交の具體策及ひ諭 大使の對脳印貿易政策の意見 自合に於て

田なるものではればられているという。

晉務指導官會議 一定である

へ適から大和ホテル技術 上歌課長二十日午前九時 帝八山郁之助氏へ大連市役所

見たが、よってるんだ。頃もある もんか。そんなに、腹を織って

いの概をした野子が、殴って、 今日は、天客院とかへ行つて、 大いにみがいて来られたさうち と、云つた。なるほど、いつ

と、残つた。臨田も、よんど 名古歌へかへると

が は四四、○ に四四、○ 电氣事 一五四、〇〇〇 が、電栗公司が 般に亘り密欝を鑑げ、併せて

> デジャネイロに到所した 澤田節嶽氏は十八日

関連】新任ブラジル駐罰大使 「リオデジャネイロ十八日發

専賣制を實施 國民政府の計畫

る、これは相當昨年の持越が 千三百軍の被を鞭烈されてる 大三百軍の被を鞭烈されてる 牌四百年

て、職職へ戦かけると、見を、

お前の戦

ぶらんし

「ねえ、戦下っあたしに傾か」

で正に創む

脈は一曜日

本に於ける最大電

▲日下辰太氏(台中州知事) 十九日正午頭大連へ 「課長」同上 「課長」同上 に 年 日 大油へ 日 東 同 野 務

見ながら云った。

なが、おや

大郎氏、愛媛縣知事) 一二十日午前九時二二十日午前九時二 9

た (熟河省長) 岡上 (1 年前十時酸大浦へ) 1 年前十時酸大浦へ

春 院 久 = 六 話

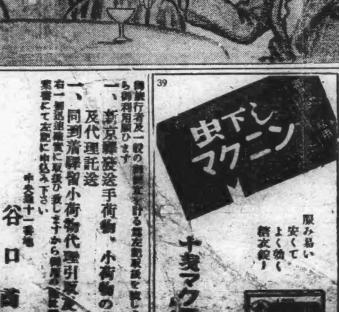
常新大連から大和ホテル ・一次に(大連消艦食営事 ・一次に、大連消艦食営事

氏(交易所常務理 大和本テル投稿 大和本テル投稿 大和本テル投稿 大和本テル投稿 大和本テル投稿 大和本テル投稿 大和本テル投稿

與東次氏 (孝天貿易商) 東) 同上

一月十日前後の後定で

入る







澤田大使

ブラジル着

限りある人生=夏川静江淮 步二二

とも、無と、無がかつた難いも する書を一 野い戦でを、父の部屋のはらせらな蛇 歌歌へ訪れたのだった。 るる父の大幅が、原田を、歌笑し のまがつて行くと、先刻、 踏

狐に入ってゐるらしく

薄利取扱ひ 原忠三郎

ひ覧をかてよるる動子の軽もき 債券の買い方数 入御報次第1時報」を新聞

割 ちつい 烹 族的

未曾有の數字

月中旬貿易事情

(卒天國語) 杉纒局大長は線 いトで勝率したが語る 今度廻つて来た各線の線路 か十九日午後四時二十八分費 かトで勝率したが語る 今度廻つて来た各線の線路 が開発したが語る のかが大部分であるにも拘は

12年 れたやうに思ふれたやうに思ふれたやうに思ふ 進歩は非常なもので某種の

杉總局次長語る

視察を終

ない程行き国きポイントの

沿線狀况の

世が機體的の會談により左右でも、 生での政策は重も今後政府が 性に院議を球電し政策を重ん での政策は重し政策を重ん での政策は重し政策を重ん で今後 の態度で政友會の態度も揺る と云ふ譯だ 観察したいと思つてゐると解水利に一度線路状態を知りませカビカと思うである。 四川省附近

自由企業

定を急いで低にその大柄の決 重要產業統制大

事に決した模様である、統則 貫業部の方針漸や

大體に於て諒解 る に協力する事になる機様であ 呼倫貝爾地方

一句以降果計

17.0元 2.7.0元 2.7

續開は七

月か

山本代表意見を交換

なるべく

信しい仕事のた。

協議會 て開催と決定し、

新京貨物事務所の調査による と本学中に樹質に到着を機想 れる本材は七千七百車(一車

二、三割減少か

影響に聞れながら、 だって、 ら、対の際に手をまはすと、 いつだつて、 から云つた

陸を抱きよせるそうにした。

北鐵調印は

何ご

(二)

公會堂で開催された、この日 店聯合大會は二十日新京配会 店聯合大會は二十日新京配会 各地商工業者の代 職庭兩氏出席した: 均の諸兵が出席、一方増元の諸兵が出席、一方増元

果然悲壯の氣漲る

滿鐵社員幹事長

湖山湖南店都合會

大倉に嗣すると

なり、満銅刷全部の官吏に於大なる危險を越ずるは其の二

「大連國通」昭和十年度減鐵 會に諮った 財員會幹率長推薦會は午後一 て之を可決 時より開かれ、次いで候補に た、斯くて 等げられた戦氏につき適任者 には中西地 を設備するため小委員會に諮 たが二月四 ないでででである。

て医報の組く跡事長の決、午後六時散費し

一致で可決

る時は、現在経濟界の不振にて消費組合組織の實現を見た

と共に最近結成中に置する。

於ける消費組合の撤

洲國官吏消費組合の急速なる。

も風かに西公園リン

火の消えた

新京銀座の商店一齊休業

要達すること膜々なるも何等を必要にして、其の撤散を動態を阻害しまりたるは顕著 へされが爲め、従來斯業 我等日浦斎店に青屋 發見

會裡に同三時終了した 偽造紙幣

荒木章氏 けふ出發

見送で大脈ひ には日識官民の見渡り人で埋 は日識官民の見渡り人で埋 は日識官民の見渡り人で埋 には日満官民の見渡り人で埋

常地中央銀行に五編修造場

多會者三百名

質町演の宮

古城

送別會盛况

ア島附近に鮪の新漁場開拓の【東京國通】南洋ニューギニ

銀盤上に躍る 各人思ひ 古人にして、特別警察署員に 逮捕され顧調中だが、該蒙古 人の言に依れば、蒙古奥地で 人の言に依れば、蒙古奥地で 居る、尙該僞造國幣は極め ふのスケ への妙技 氏は傷めて謙譲のうちに無 會盛况 祭隊の

審上上奏うも突う寄は押つ審そは上押う上は出 倒手季出つた出ち倒た出り倒とた手出つ手たし し接着しちれしがちきし出しがき投しち投き げげ 中込 け 込 し け込げ 中げ込け りみ り み

(東京國通)大角カ九日目 (東京國通)大角カ九日目 (勝) 湿血で逝去した、享年八十九 深山氏は十九日午後十一時腦 東京大相撲

> __合金 · CE

受社融

ハ之中間等以上ノ夢力ラ有

局橋琢也氏逝く

× 00 五、二五

(1) 正月 東京より) 東京より) 東京より) 東京より) た 権 発 発 発 発 発 の 変 名 脱町金剛寺で 111,00 五、00

六年女子 中男子 林仁俊 を (朝鮮語) 女子 金瑛基 (日語) / ムぎの恩返

音通學校兒童

同荒 木 倭 文 章

吸入器 一川川十八 村中兄弟徳書

康 德 家具裝飾部 室内を 御家庭用品部 飾る

家庭百貨陳 海 株 及御家庭必要品 カーテン、テープル接動物 と、全質、水 量 会、物 0 列

台地 常盤町一丁目十六電話三七九二番四二七級見郷通知の方には運動を呈します (水カキ)最大、大犬(水カキ)最大、大犬

房寅市一

田 御會葬御禮 古





は我縣出身著各類等より

事養成所講習生募集

舊歳末を目當てに

匪首の國都入

富局の嚴重警戒に手足出ず

総合者約三百名に上る底况で の途別會は十九日午替五時三 十分から記念公會堂で開催。

南洋

へればこれに對し荒木に残した偉大なる功勇を

日芝浦に鬱港したが中川智船白騰丸は四月振りで

新京署刑事に捕る

月部 職を 解散し帰名 は苦力 「槐子を窺つてるたが首都の警」挺、實頭十六酸を抑取した、前軍にへこたれ、昨年十一 に入り披内滿人舷館に投宿し 「砂は日滿官嶽の厳し」、《く潜入を企て本月十日新京 の新京最岩田淵事、趙邈摘かつてるた、勝首顧山こと李書 山にかくれてるたところ衙歳 十九日午後六時ごろ市内朝日で三八、時太平こと李秀卿 木を整へ新京で强盗を敢行す 一つて敢行を全てたるも果さず一つであた。縣首顧山こと李書 山にかくれてるたところ衙歳 十九日午後六時ごろ市内朝日で三八、李宗樹縣を模談にかま に身を鞭ヘョーヤル学統一挺 一成は一軒殿重なので二回に互要権、臺宗樹縣を模談にかま に身を鞭ヘョーヤル学統一挺 一成は一軒殿重なので二回に互要権、臺宗樹縣を模談にかま

安東のカフ 照明には威心

保安事務視察から歸った

二十一日(月曜)新京(午後の部)

八、四五二二十

人 IIO 時外

保安主任語る

込まれる個がした、

大業の客から歓迎さ

- も今後開査を

けふの氣温

午前十一時零下一度五

九、三〇 標準市況
九、四〇 (東京より)
一〇、四〇 (東京より)
一〇、四〇 (東京より)
一〇、五九 時 報源市況

おうつ、あんたも配か、風か

をいるとは

お万は

はきつといつで

「それでは、お飲むもつばり

ない。お前の念みだけでも概之外

喧噪の聞へすつきりがった、手古

お解は水炭素を取つた

もう解解みでは

巨克

行友李風階

平伽二氏

「間質がつきさへすれば、既に 「間質がつきさへすれば、既に であったのでは思りますが、俳優 る事になつては思りますが、俳優

んと母歌観だつたのかい。」

でうな さうかい…っこの観

ない、野は昨夜春の間で

この眠さんもやつば

て、早販小野川のところへ出 『お歌さんは、何といふな人か 『はい、あたしは二十一日の間

群場所機は、個似のお分内ででも たなが、山田 村の寺立 遊長町も 「連れて来たのが、個之間の枠 一世やのお万と楽しまする して

考人は お万の戦を見詰た。 ●二黒の人 職大なる建築に 見舞る×日なれど口舌注章 甲と丙と季が吉 白の

元 行 堪 南 端 〈I 正株四貫入〉

一樽金二調五十銭

特ち鍛ねの ボル大 味のよい

テモ

日本織通り

腹痛タミ

タミ・

(市學院)

「人院隨意」



フォ

御題の方面

オー

ドッタイヤ

日動車賣却

小兒科

電話六九〇八番へ 電話五七〇九 台台 運動の

治ったのはタミンが

痛

のが

登嫌なら



小兒科

堂脇醫院

電話五五一一番

吉野町一

ノナー

勳正

六七 等位

ゴトウ

絶對他進造話さぬ

税町=丁目四 電話三四六六

今宵は是非のど自慢の清元をお明に嬉野へ = t ^ = 野



・紀洋費美出前出張の顧問取シマスト

書 音 器 収 御用命に 賣店



電話四九六三番

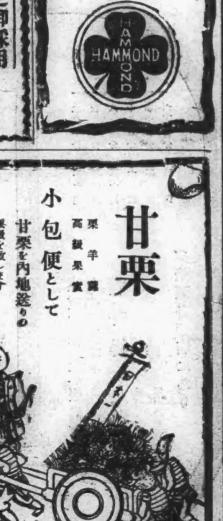


















(大阪行)

食後

0

性病 乾樓下雅

高橋寮院

(日)

大船町四丁目 田島 フジス 創業二十餘年東京 日日新聞助電事業場託

歌しき破婚の女性、なみ子は和 くましみの女性、なみ子は和 信にして世の荒波と闘つて行 く!美しきが故に、あまりに 独情なるが爲めに、生活の歴 たその後のなみ子は………… 「風」写「香」取一二二百 原作 大佛 大郎 監督 曾根 千晴 監督 曾根 千晴

時電三三〇〇時

福田支店

御申込は

和洋行

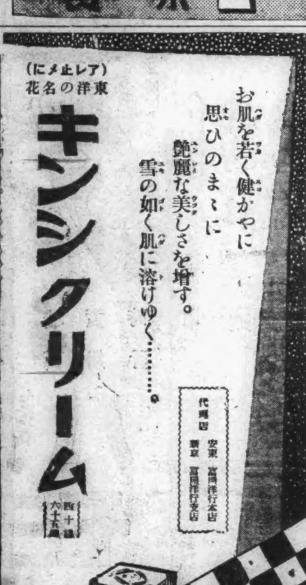
命

析尾新聞新 東京) 朝日新聞 東京) 朝日新聞



大木と茶道具の みどり茶園へ

第一篇「鍼り組団體に用盗との大栗を目前に薩摩に用込とめる「鍼り組」を向ふに廻しめる「鍼り組団を向ふに廻し ●廿日より●三日間上映満田サウンド版



製の岩城セメン

ノトカラー

ントと石灰の僧色幽

「容器一動度、五動度輸入」

日本橋通り六三 2 日本間 フランスホ 四丁

● プロ衛中込

代制 理求 店摊

電話 四七九〇番

●カベ館料カセインの特價提供●

を必要と致します。

といふ事が一つ、この三つの條件

科診目療 新京永樂町三丁目新京永樂町三丁目 都

花柳病科, 、肛門病科

朝 鲜 釜山、大邱、木補、群山、仁川、平溪、鎮南浦、元山、清津、雄燕内 地 東京、大阪、大阪西溪、神戸、下鍋支店出張所及派出所

· 朝鮮銀行新京支店日本銀行

、四平街、哈爾賓、佛家句、齊々哈爾、穆拉爾、安東縣、戰升村、國們: 通、餘順、譬口、遼陽、奉天、率天小西陽、錦州、赤峰、承德、鐵續、開 最近三六一六番 ●天草丸毎月一(大月卅一日) ・一、二十一日 ・一、二十一日 **● 神** 海 日 本 海 日 満 田 本 海 日 満

新春着尺新荷着

胃 場工連大英製高網

定評ある篠田へ!

ふさん……わた類は

是非御用命を…!! 東一條腦 因篠

取扱 懇切の保險は信用厚く

田 商店

NL 其他日滿一般法律事務 端 洲 國 商 標 登 錄 定 諸 契 約 作 成 護 士

州京入船町四丁目廿九番地

全國各薬店に

藤井得三郎商本編 # 55 章 章 章 章 章

得三郎商

の程度に飲收かといふ事が一つ、 疾、咳、喘息薬の選擇は、咳がど 要症を防いて何の禍痕も残さぬか 脚作用が無いかといふ事が一つ、

散角龍 適 ぜんそくにてせるしと思想する…たんにて常にゴネンしと情む 類類質質質質質



たんせき。殊に喘息の重症に苦しき 物はありません、 として益々評判の龍角散をお薦致ます 家庭治療の精華